



浦添市 まちづくりプラン賞

決定
しました!

浦添市では、市民主体の協働（パートナーシップ）のまちづくりをめざして、『浦添市まちづくりプラン賞』を設定しました。

これまで行われてきた広報啓発の為の表彰制度としての『浦添市都市景観賞』を一步進め、市民参加を促しかつ支援する表彰・助成制度であります。なお、『まちづくりプラン賞』に関しては、『浦添市都市景観賞』15周年記念『まちづくり・景観フォーラムinうらそえ'98』で浦添市都市美創出審査委員会からの提言を受けて創設したものです。ここでは、その概要を紹介します。

浦添市まちづくりプラン賞とは？

具体的には、市民が広く利用でき、もしくは眺められる浦添市内の公園、道路、街角、広場、空き地、バス停、緑地、海岸、河川などを対象とした、生活や自然環境の向上に寄与するあらゆる活動を、実現するための費用を、市が助成するものです。応募（案）の選定に関しては、公開審査で応募者・一般市民参加のもと行われます。

第2回『浦添市まちづくりプラン賞』

決定
しました!

第2回「浦添市まちづくりプラン賞」は、さる平成13年7月7日（土）に応募9団体に対し、公開審査会を開催し総額115万円（後援団体助成金含む）の助成が6団体に決定しました。

平成13年7月7日（土）に市役所9階講堂で『浦添市まちづくりプラン賞』の第2回公開審査が行われました、ここではその概要を紹介します。

（下のタイトルをクリックすると、詳細がご覧いただけます。）

公開審査

表彰授与式

助成団体の
活動状況

応募者一覧

助成団体の
紹介



第2回「浦添市まちづくりプラン賞」のフライヤー(チラシ)です。クリックすると大きくなります(100k)

第1回『浦添市まちづくりプラン賞』

第1回の平成11年度は、総額115万円（後援団体賞含む）5グループに助成が決定しました。上のタイトルをクリックすると第一回の詳細がご覧頂けます。

都市計画課
トップへ

第2回
浦添市
まちづくり
プラン賞募集

●募集期間●

— 平成13年 —

6月1日(金)~6月30日(土)まで

「こんなふうにしたら
きっとステキな街になる」
そんな活動プランを
募集します。

小島がまえずり、緑があふれ、
いつても新しい発見と楽しさがある。
美しい自然環境と調和した街。
そんな、街づくりに関して、
みなさんが主体となって活動できる
プランを考えてみませんか？
受賞されたプランには
実現のための支援をします。



2nd
UNLACED
MANSILLA

主催：浦添市 後援：浦添商工会議所・(社)沖縄建築士会浦添支部・(社)沖縄建築業協会浦添・西原支部・てだこ緑花会・浦添市建設技術協会

第2回 『浦添市まちづくりプラン賞』 公開審査

平成13年7月7日(土)に市役所9階講堂で『浦添市まちづくりプラン賞』の第2回公開審査が行われました、ここではその概要を紹介します。

『公開審査会』の概要



当日は、午後1時に開場しはじめに、浦添市長儀間光男の挨拶がありました。その中で「まちづくりは市民ニーズにどう応えていくかが大きな課題。市民参加のまちづくり事業にご協力いただき、みなさまには心から感謝いたします。」との話がありました。

その後、第1回の助成団体の活動報告があり、続いて応募9団体の代表が応募内容に関する熱の入った発表がありました。

発表は、子ども会による地域再発見の活動や、街路にシーサーを設置し、潤いのある街路空間づくりに取り組む案などを、熱の入った語り口で参加者が感心したり、ユニークな発表で爆笑の渦が出来るなど、まちづくりへの夢と情熱にあふれた発表となりました。

発表終了後、審査委員と応募者の質疑応答があり、審査委員からは、「全体的に、浦添市のまちづくりに対して問題意識が高い。」、「前回よりもまちづくりプラン賞の助成に対する認識が高くなっている。」などの感想や、「この賞で助成する内容ではないのでは?」「このような活動で、求めている成果でるのか」など厳しい質問がでるなど、白熱したやりとりになりました。



最終的に、応募9団体に対し総額115万円(後援団体助成金を含む)6団体の助成が決定しました。

下の写真をクリックするとアルバム形式で活動の様子がご覧頂けます



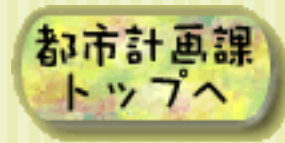
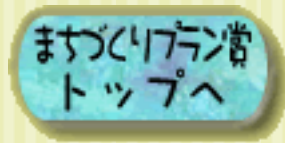
公開審査の様子



参加者のみなさん

応募者一覧

第2回『浦添市まちづくりプラン賞』
応募者一覧はこちら



第2回 『浦添市まちづくりプラン賞』

公開審査の様子



当日は大勢の方が参加しました。



ロビーの様子です。



儀間市長のあいさつ。



市長も熱心に皆さんの発表を聞いていました。



前回受賞団体の活動の様子もパネルにしました。



前回受賞団体の活動報告です。



審査委員とフロアーとのやりとりもありました。



もどる

第2回 『浦添まちづくりプラン賞』

参加者のみなさん



勢理客自治会・獅子舞保存会その他の皆さん



牧港川をきれいにする市民の会



COMSグループの皆さん



茶山自治会



宮城子ども会の皆さん



にしはらAGURI隊の皆さん



浦添まちづくりトラスト活動研究会の皆さん



オオゴマダラを楽しむ会の皆さん



トラフの皆さん

もどる

第2回
『浦添市まちづくりプラン賞』
応募者一覧

No.	団体名・活動場所 活動内容	希望額 (決定額)
-----	------------------	--------------



1 勢理客自治会、獅子舞保存会、その他・市道34号線

地域の伝統芸能であり、市の無形文化財に指定されている獅子舞をモチーフに、地域内をはしる市道34号線にシーサーの置物を設置し、潤いのある住民参画型の道路景観作りに取り組む。

¥500,000
(¥200,000)

2 牧港川をきれいにする市民の会・浦添市西原 ドラゴン公園付近

牧港川の浄化活動。第一回まちづくりプラン賞受賞。前回、牧港川に「木炭と有用微生物を用いた河川浄化器」を設置して浄水の浄化を試みた。結果的に、糸ミミズの繁殖、小魚の増加（目視による）が見られた。今回は、河川の中に浄化器を設置せず、河川の周辺に「米のとぎ汁醗酵液」のタンクを設置し、定期的に河川に流すことで浄化を試みる。

¥200,000
(¥0)

3 COSMグループ・県立工業（商業）高校から選択

沖縄県の自立的発展に向けて、将来のIT社会のまちづくりが構築できるよう、その要となる人材育成に向けたITモデル校の構築を図る。そして、見本となるべくモデル校をボランティア活動により構築することで、市民及び市、県、国の行政団体を喚起させ、人材育成をより一層推進させる。

¥200,000
(¥0)

4 茶山自治会・茶山団地内（団地東方の前田排水路周辺）



「浦添城趾をホタルの里に！」水生生物等を蘇らせ()、夜空にホタルが飛び交うような自然豊かな環境づくりを目指し、小湾川の上流域で、茶山団地と前田地域との境目にある小湾川に注ぐ小さな水路を中心に清流を取り戻す活動を展開する。
(沖縄県のホタルは殆どが陸生です)

¥ 350,000
(¥ 250,000)



5 宮城子ども会・浦添市宮城

「宮城再発見ワークショップ」「子供たちと一緒に宮城を見つめてみよう」というテーマに、子ども会を中心に小湾川の川歩きを初めとして、歴史や緑などの自然をみんなで調べて、宮城の地図をつくる。

¥ 300,000
(¥ 260,000)



6 にしはらAGURI隊・浦添市字西原地区(平田原)

「コミュニティーガ・デン(農園)をつくろう！」西原地内にある遊休地を、地域内外の人たちが土に触れあいながら交流の場となるコミュニティー菜園として有効利用し、地域活性化と図りたい。その為に、農地探検マップの作成、ハルサー名人探しなどワークショップを行い地域の農文化を再確認し、対象地を捜し土づくりから始めたい。

¥ 300,000
(¥ 260,000)



7 浦添まちづくりトラスト活動研究会・浦添市内

「浦添市のまちづくり活動ネットづくり」身近な生活環境の改善、保全に取り組む住民活動の交流や情報交換を通じて、地域に根ざしたパートナーシップによるまちづくり活動の活性化を目指し、「浦添市のまちづくり活動マップ・人材リストづくり」や「浦添みどりのまちづくり交流ワークショップ会議」を開催する。

¥ 100,000
(¥ 100,000)

8 トラフ・浦添市美術館等

私達“トラフ”は、展示会やフォーラム等で構成される『まちづくり展』を企画し、市民・行政・専門分野の方々とともに、まちづくりに対する意見交換の場をつくりま

す。
¥300,000
(¥0)



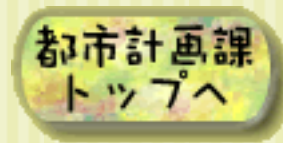
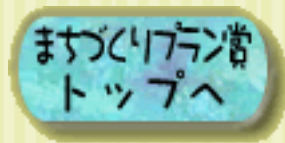
9 オオゴマダラを楽しむ会・浦添市運動公園内、その他許可が得られる場所

「オオゴマダラを増やす活動」オオゴマダラや他の飼育飼育し易い蝶を野外で増やす。市内の森や草原、水域で子供たちと自然を楽しみ、自然のあり方を考えたい。

¥80,000
(¥80,000)



は助成団体



第2回 『浦添市まちづくりプラン賞』 表彰授与式

平成13年7月7日(土)に市役所9階講堂で『浦添市まちづくりプラン賞』の第2回公開審査会が行われ、そこでの審査に基づき平成13年7月16日(月)に表彰授与・助成金交付式が行われました。ここではその模様と受賞団体の活動(案)を紹介します。

『表彰授与式・助成金交付式』



平成13年7月16日(月)に市長応接室で、公開審査を経て選ばれた6グループに対する表彰式と助成金交付式が行われました。

池田孝之委員長(琉大教授)は「各グループとも優秀で選考が難しかった。皆さんはまちづくりの活動モデルとして啓蒙の一端を担っています。良い成

果をだして来年、発表して下さい。」と講評しました。

助成団体の 紹介

「宮城子ども会」

喜舎場 宗正 助成額 26万円

「宮城再発見ワークショップ」「子どもたちと一緒に宮城を見つめてみよう」というテーマで、子ども会を中心に小湾川の川歩きを始めとして、宮城の歴史や緑などの自然をみんなで調べ、「宮城ってこんなところマップ」をつくり

ます。
最終的には「あの場所を改善したいな、この場所をずーっと残していきたいな！」などまちづくりへの提案をします。



[活動状況へ](#)

「にしはらAGUR隊」

棚原 栄 助成額 26万円



[活動状況へ](#)

「コミュニティ・ガーデン(農園)をつくろう！」西原地内にある遊休地を、地域内外の人たちが土に触れあいながら交流の場となるコミュニティ菜園として有効利用し、地域活性化を図ります。その為に、農地探検マップの作成、ハルサー名人捜しなどのワークショップを行い、地域の農文化を再確認し、対象地を捜し土づくりから始めます。

「茶山自治会」

大濱 勝彦 助成額 25万円

「浦添城祉をホタルの里に！」をテーマに水生生物等を蘇らせ()、夜空にホタルが飛び交うような自然豊かな環境づくりを目指します。具体的には小湾川の上流域で、茶山団地と前田地域との境目にある小湾川に注ぐ小さな水路を中心に清流を取り戻す活動を展開します。

(沖縄県のホタルは殆どが陸生です)



[活動状況へ](#)

「勢理客自治会、獅子舞保存会、その他」 具志堅 全盛 助成額 20万円



獅子舞は勢理客の伝統芸能で、市の無形文化財に指定されています。その獅子舞をモチーフに、地域内をはしる市道34号線（海銀勢理客支店からサン食品までの600m）にシーサーの置物を設置し、潤いのある住民参画型の道路景観作りに取り組みます。



「浦添まちづくりトラスト活動研究会」 安次富 恵理奈 助成額 10万円

「まちづくり活動ネットづくり」をテーマに住民活動の交流を通じて、地域に根ざしたパートナーシップによるまちづくり活動の活性化を目指し、「まちづくり活動マップ・人材リストづくり」や「みどりのまちづくり交流ワークショップ会議」を開催します。



「オオゴマダラを楽しむ会」 親富祖 善繁 助成額 8万円



オオゴマダラや他の飼育し 易い蝶を野外で増やします。オオゴマダラは日本最大の蝶 といわれそのさなぎは金色で美しく、ホーライカガミを食草として育ちます。また、市内の森や草原、水域で子どもたちと自然を楽しみ、自然のあり方を考えます。



助成団体の 活動状況

「オオゴマダラを楽しむ会」

親富祖 善繁 助成額 8万円



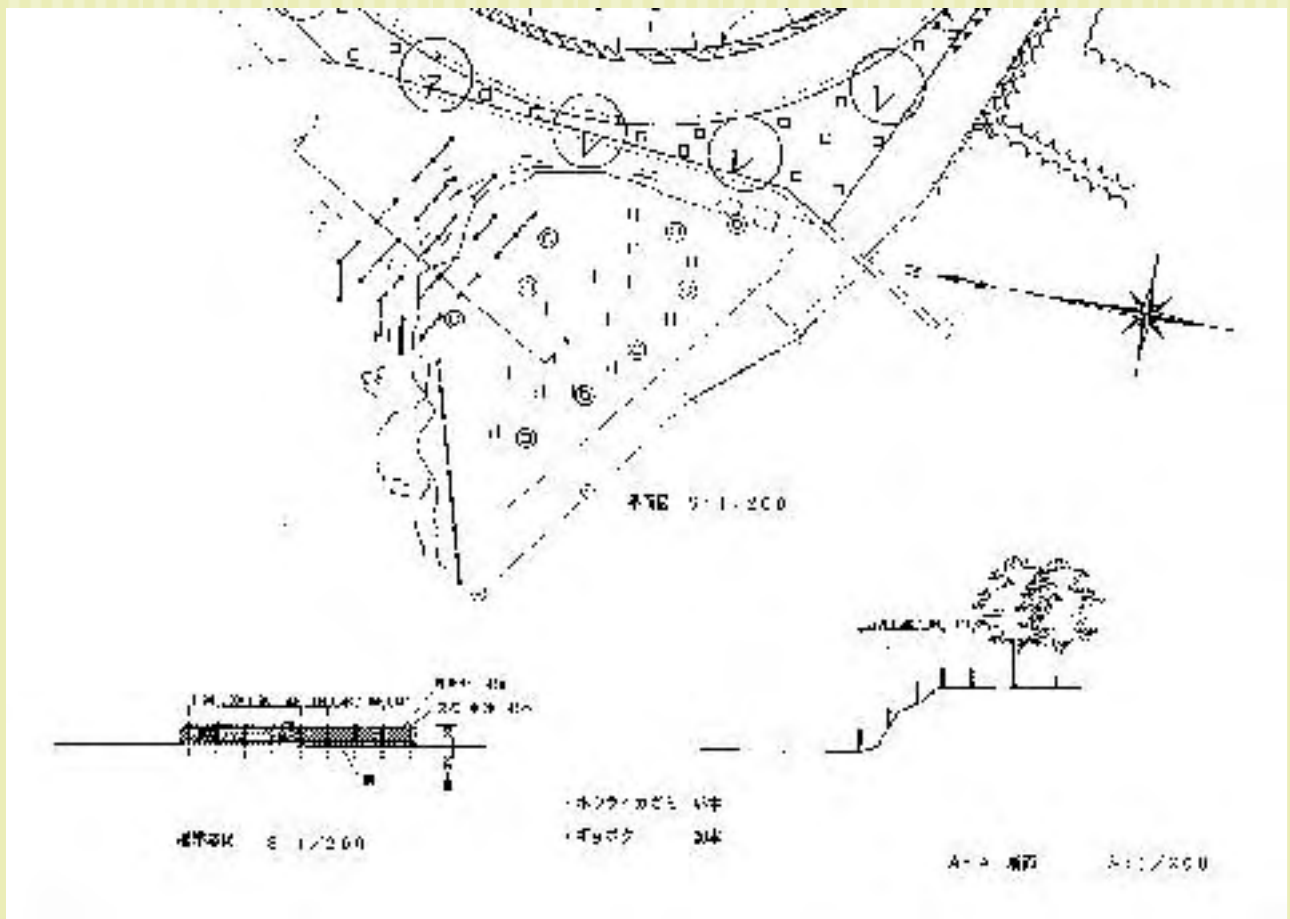
応募時の活動計画

オオゴマダラや他の飼育し易い蝶を野外で増やします。オオゴマダラは日本最大の蝶といわれそのさなぎは金色で美しく、ホーライカガミを食草として育てます。また、市内の森や草原、水域で子どもたちと自然を楽しみ、自然のあり方を考えます。

植栽活動を行っている、沖縄県営浦添大公園です。



浦添市運動公園内でも活動することになりました



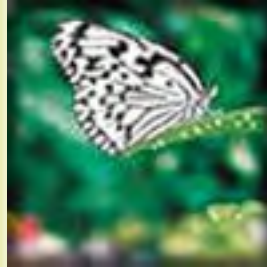
浦添市運動公園での計画図です。少々見にくいですが雰囲気はわかって頂けるでしょうか？

平成12年度の活動の様子

下記写真をクリックすると平成12年度の活動の様子をご覧頂けます



[苗や肥料などを用意しました](#)
(74k)



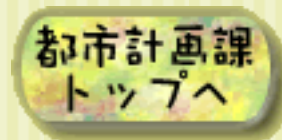
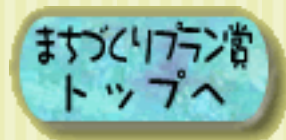
[オオゴマダラの幼虫・さなぎ](#)
(34k)



[浦添市運動公園内でも活動することになりました。\(45k\)](#)

[宮城子ども会](#)・[にしはらAGURI隊](#)・[茶山自治会](#)・[勢理客自治会他](#)

[浦添まちづくりトラスト活動研究会](#)・[オオゴマダラを楽しむ会](#)



平成12年度の活動の様子
「オオゴマダラを楽しむ会」

苗木や肥料などを用意しました



ハウライカガミの苗です。



苗がそだちました。(H12.6)。



これもハウライカガミです。



肥料やプランターも必要です。



もどる



平成12年度の活動の様子
「オオゴマダラを楽しむ会」

オオゴマダラの幼虫、さなぎ



オオゴマダラの幼虫です。



さなぎの抜け殻です。

もどる

平成12年度の活動の様子
「オオゴマダラを楽しむ会」

浦添市運動公園内でも活動することになりました。蝶の園をつくろう。



どのように食草（ホウライカガミ）を
植えようか思案中です。



ここら辺でよろしいでしょうか？

もどる

助成団体の 活動状況

「にしはらAGURI隊」

棚原 栄 助成額 26万円

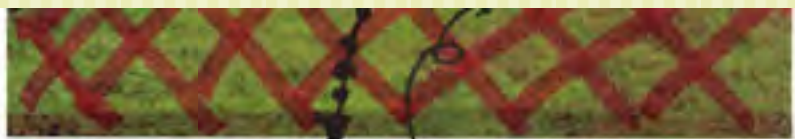
応募時の活動計画

「コミュニティ・ガーデン(農園)をつくろう！」西原地内にある遊休地を、地域内外の人たちが土に触れあいながら交流の場となるコミュニティ菜園として有効利用し、地域活性化を図ります。その為に、農地探検マップの作成、ハルサー名人捜しなどのワークショップを行い、地域の農文化を再確認し、対象地を捜し土づくりから始めます。



字西原の遊休地です。





アプロ-4 土作りの範囲
(耕作)

字西原平田原の遊休地

- サトウキビが部分的にのっこっているが周囲に建物が張り付いて、長年放置状態になっている。
- 地主から使用許可を得ている。

[宮城子ども会](#)・[にしはらAGURI隊](#)・[茶山自治会](#)・[勢理客自治会他](#)

[浦添まちづくりトラスト活動研究会](#)・[オオゴマダラを楽しむ会](#)

まちづくりプラン書
トップへ

都市計画課
トップへ

助成団体の 活動状況

「茶山自治会」

親富祖 善繁 助成額 22万円

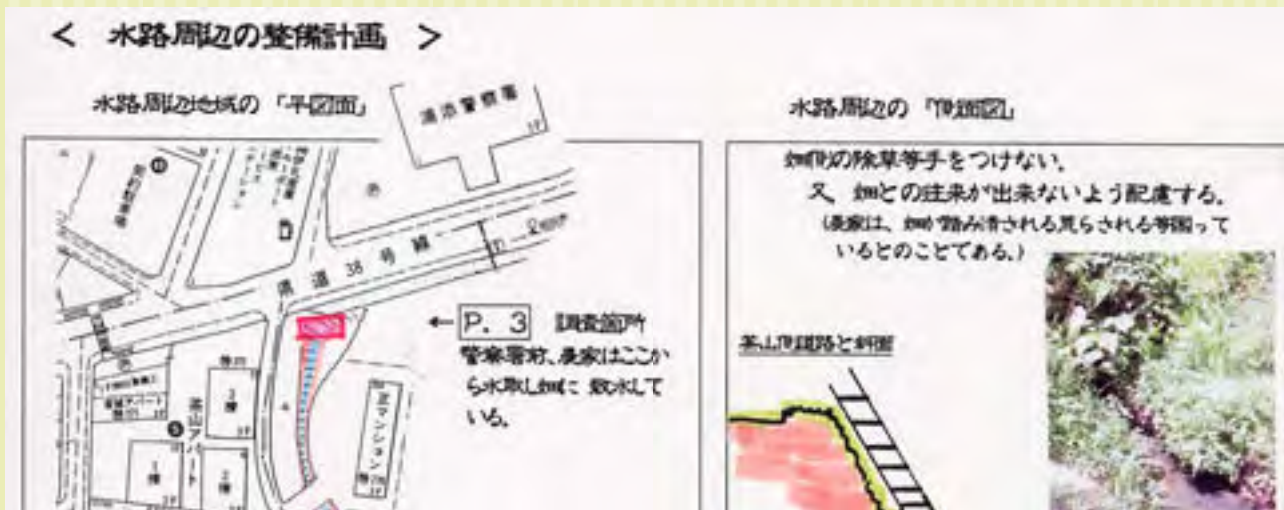
応募時の活動計画

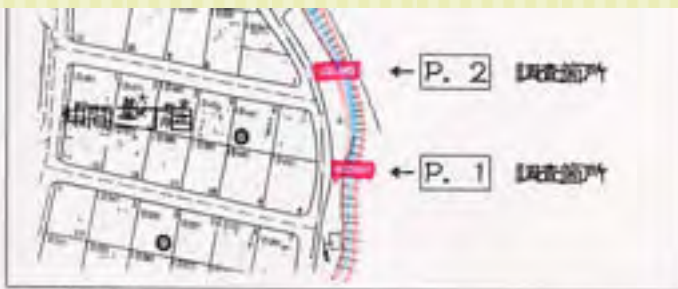


「浦添城祉をホタルの里に！」をテーマに水生生物等を蘇らせ()、夜空にホタルが飛び交うような自然豊かな環境づくりを目指します。具体的には小湾川の上流域で、茶山団地と前田地域との境目にある小湾川に注ぐ小さな水路を中心に清流を取り戻す活動を展開します。

(沖縄県のホタルは殆どが陸生です)

活動内容のイメージ図です。





<説明>

- 畑に悪影響を与えないよう十分配慮して整備する。
- 茶山等の斜面を除草する。
- 水路周辺は、大よそ、30～50 ㎡の範囲を活用する。
- 調査等ポイントを3箇所に設置する。P1, P2 を整備する。
- 事業の地価や環境保全等に関する協力依頼の「立て看板」を設置する。

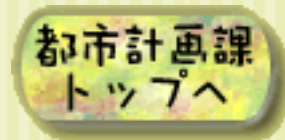
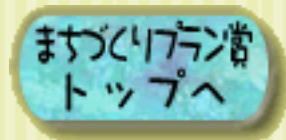


<説明>

- 水辺への昇降は、大型のアルミ製ハシゴを購入し、水管検査や調査・観察等の際に利用する。(常設しない)
- 調査等する水辺の足場を整備し確保する。

宮城子ども会・にしはらAGURI隊・茶山自治会・勢理客自治会他

浦添まちづくりトラスト活動研究会・オオゴマダラを楽しむ会



助成団体の 活動状況

「宮城子ども会」

喜舎場 宗正 助成額 26万円

応募時の活動計画

「宮城再発見ワークショップ」「子どもたちと一緒に宮城を見つめてみよう」というテーマで、子ども会を中心に小湾川の川歩きを始めとして、宮城の歴史や緑などの自然をみんなで調べ、「宮城ってこんなところマップ」をつくります。

最終的には「あの場所を改善したいな、この場所をずーっと残していきたいな！」などまちづくりへの提案をします。



宮城再発見ワークショップの進め方（案）です。

宮城再発見ワークショップ

テーマ：

浦添市の宮城って、どんなところ？

ステップ1:

小湾川って、どんな川？

宮城の中央を東から西へと流れる小湾川。この川はどこから流れて、どこへ流れていくのだろう、また、どんな生き物がすんでいるのだろう。みんなで確認してみよう。

- 1.川歩きのコースを歩こう
- 2.みんなで、コースを歩きながら、気づいたことを写真や文字で記録しよう。
- 4.川にふれられる場所で、生き物を探してみよう。
- 5.こうした活動をもとに小湾川マップとして整理しよう。



ステップ2:

宮城の歴史や文化を見つめる旅をしよう！

宮城集落内には、まだいろんなゆかりの場が点在しています。また、2年前には地主会が中心となって宮城のウガンジュ広場を作りました。このような宮城ゆかりの場をみんなで巡り（宮城う廻い）、確認しよう。

- 1.アシビナーを出発点として、ゆかりの場巡りのコースを計画しよう。
- 2.みんなで、コースを歩きながら、気づいたこと（きれいな場所、危ない場所、大きな木等）を写真や文字で記録しよう。
- 3.ゆかりの場では、地域のおじいちゃん、おばあちゃんから由来や歴史を教えてもらおう。
- 4.こうした活動をもとに、ゆかりの場ルートマップとして整理しよう

助成団体の 活動状況

「勢理客自治会、獅子舞保存会、その他」

具志堅 全盛
助成額 20万円

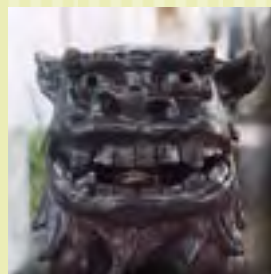
応募時の活動計画



獅子舞は勢理客の伝統芸能で、市の無形文化財に指定されています。その獅子舞をモチーフに、地域内をはしる市道34号線（海銀勢理客支店からサン食品までの600m）にシーサーの置物を設置し、潤いのある住民参画型の道路景観作りに取り組みます。

活動の様子

下記写真をクリックするとアルバム形式で活動の様子がご覧頂けます。

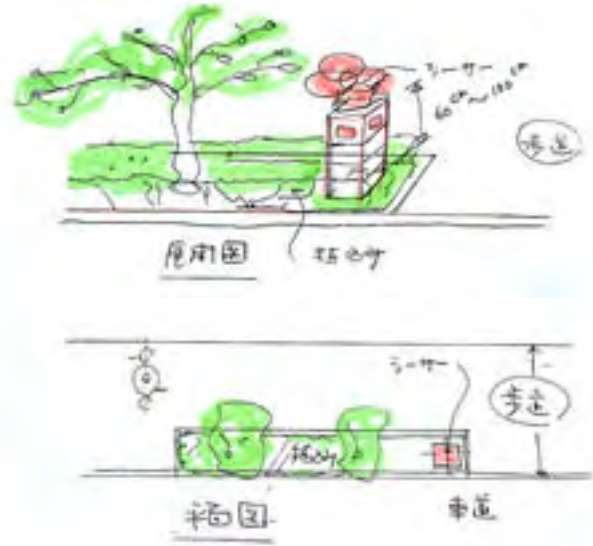


シーサーを設置しました
(50k)



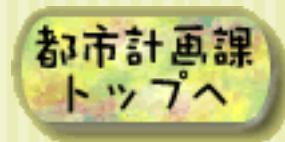
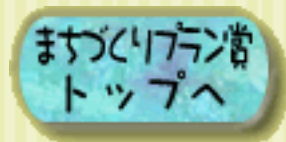
除幕式です(56k)

イメージ図です。



[宮城子ども会](#)・[にしはらAGURI隊](#)・[茶山自治会](#)・[勢理客自治会他](#)

[浦添まちづくりトラスト活動研究会](#)・[オオゴマダラを楽しむ会](#)





「惣理客自治会、獅子舞保存会、その他」

計画に基づき、シーサーを設置しました。
色々なシーサーを地域の皆様の好意で、
寄贈していただきました。



「塾理客自治会、獅子舞保存会、その他」



いよいよ、シーサーの除幕式です。13年8月11日(土)。



当日は、儀間市長をはじめ数多くの来賓が見えました。



除幕式です。



近くの保育園の子ども達です。



マスコミの取材もありました。

もどる

助成団体の 活動状況

「浦添まちづくりリトラスト活動研究会」

安次富 恵理奈
助成額 10万円

応募時の活動計画



「まちづくり活動ネットづくり」をテーマに住民活動の交流を通じて、地域に根ざしたパートナーシップによるまちづくり活動の活性化を目指し、「まちづくり活動マップ・人材リストづくり」や「みどりのまちづくり交流ワークショップ会議」を開催します。

活動内容

「浦添市のまちづくりプラン賞」に応募するにあたって、次の活動に取り組んでみたいと考えています。

1. 浦添市のまちづくり活動マップ・人材リストづくり

浦添市の環境保全やまちづくり活動に関わる活動グループ、地域のユニークな人材の発掘等、浦添市の住民主体のまちづくり活動の実態の把握のためのフィールドワーク、ヒアリング。



2. (浦添市みどりのまちづくり交流ワークショップ会議)の開催

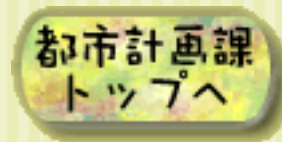
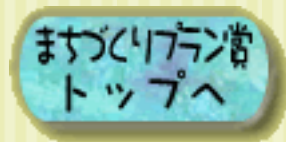
- ・浦添市のまちづくり活動グループとして実績のあるものから、新たに発掘した活動グループや地域のユニークな人材まで、自由に話しあえる場と機会づくりとしての(みどりのまちづくり交流ワークショップ会議)を開催する。
- ・このワークショップ会議への参加交流を通じてそれぞれの活動グループが、今後の浦添のみどりのまちづくり活動を行うにあたっての、展望、ネットワークづくりのヒントを見出すための実験的な取り組みとしたい。

4. 活動成果のまとめと報告(活動発表)

できる限りの活動成果を冊子等印刷にし、広報紙としての活用を考えています。

[宮城子ども会](#)・[にしはらAGURI隊](#)・[茶山自治会](#)・[勢理客自治会他](#)

[浦添まちづくりトラスト活動研究会](#)・[オオゴマダラを楽しむ会](#)



シーサーの顔も色々あります。



もどろ

浦添市 まちづくりプラン賞

浦添市では、市民主体の協働（パートナーシップ）のまちづくりをめざして、『浦添市まちづくりプラン賞』を設定しました。

これまで行われてきた広報啓発の為の表彰制度としての『浦添市都市景観賞』を一步進め、市民参加を促しかつ支援する表彰・助成制度であります。なお、『まちづくりプラン賞』に関しては、『浦添市都市景観賞』15周年記念『まちづくり・景観フォーラムinうらそえ'98』で浦添市都市美創出審査委員会からの提言を受けて創設したものです。

ここでは、その概要を紹介します。

浦添市まちづくりプラン賞とは？

具体的には、市民が広く利用でき、もしくは眺められる浦添市内の公園、道路、街角、広場、空き地、バス停、緑地、海岸、河川などを対象とした、生活や自然環境の向上に寄与するあらゆる活動を、実現するための費用を、市が助成するものです。応募（案）の選定に関しては、公開審査で応募者・一般市民参加のもと行われます。

第1回『浦添市まちづくりプラン賞』

第1回の平成11年度は、総額115万円（後援団体賞含む）5グループに助成が決定しました。以下のボタンから公開審査から活動状況までの詳細がご覧頂けます。

公開審査

表彰授与式

助成団体の
活動状況

応募者一覧

助成団体の
紹介

第2回『浦添市まちづくりプラン賞』

[へもどる](#)

公開審査

平成12年10月9日(土)に市役所9階の講堂で『浦添市まちづくりプラン賞』の第一回公開審査会が行われました、にここではその模様を紹介します。

『公開審査会』の概要



当日は、午後1時から開場しビデオの上映後、東恩納都市計画部長の挨拶の後、応募12団体の代表が応募内容に関する熱の入った発表がありました。

発表は『渡り鳥が羽根を休めた松の木を復元させたい。』といった計画や、すでに市で計画中のものなどもあり、ユニークな発想に会場が爆笑の渦に巻き込まれるなど、まちづくりへの夢と熱意にあふれた発表でした。

各グループの豊富なアイディアに、審査委員をはじめ、参加者たちも熱心に聞き入っていました。

発表終了後、審査委員との活発な質疑応答があり、審査委員からは、失われていく浦添の良き部分の回復について意欲的であるとか、3グループがまとまって取り組むとより効果がでるのではないかななどの意見が出ました。



また、参加者からはプラン賞も良いが、公開審査という手法は、いろいろな人の意見を聞くことができ、とても勉強になりましたとの感想が寄せられました。

公開審査の締めくくりとして、池田孝之委員長(琉球大学教授)は、「今回の応募者は自分の庭だけをきれいにするのではなく、地域の人たちに貢献しようという姿勢を感じます。今後も活動の中心となって活躍していただきたい。」と述べました。

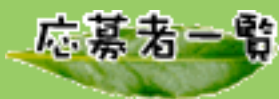
下の写真をクリックするとアルバム形式で活動の様子がご覧頂けます



[第1回公開審査の様子](#)

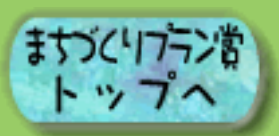


[参加者のみなさん](#)



[第1回『浦添市まちづくりプラン賞』](#)

[応募者一覧はこちら](#)



第2回『浦添市まちづくりプラン賞』

[へもどる](#)

第1回『浦添市まちづくりプラン』

第1回公開審査の様子



受付



ビデオ上映中



審査会風景



東恩納部長の挨拶もありました。



審査の先生方です。



審査委員とフロアーとのやりとりもありました



発表資料です。

もどる



池田委員長の最終発表です。

第1回 『浦添市まきづくプラン』

参加者のみなさん



浦城小をきれいにする花の会



グループエコ・ライフ



遊び村



牧港川をきれいにする市民の会



トラフ



オオゴマダラを楽しむ会



伊祖自治会



沢岷自治会



宮城自治会



茶山自治会



西原子ども会 + あるふあ



浦城自治会



西原こども会のみなさん。

もどる

応募者一覧

No.	団体名・活動場所	活動内容	希望額 (決定額)
1	浦城小学校を きれいにする花の会 浦城小学校前 市民開放広場(学校敷地)	『小学校の校門前の開放広場 を中心とした、地域の花いっ ぱい活動。』最終的には市域 全体に広げたい。	¥300,000 (¥0)
2	グループエコ・ライフ 浦添市市民会館 屋外駐車場北土手(市有地)	『湧水利用によるビオトープ の創造』 -メダカが泳ぎトンボが飛び 交いホタルが舞う水辺-	¥500,000 (¥0)
3	遊び村 浦添市内の川や公園	『カヌーを用い身近な川遊び を通し、楽しさの中から環境 問題への取組の機会とす る。』 身近なフィールドワークを通 して、仲間、場所時間の関わ りの中から新しい価値を発見 する。	¥380,000 (¥0)
	4 牧港川をきれいに する市民の会 牧港川(県管理)	『牧港川の浄化活動。』 ・港川散策の集い。 ・十二支橋付近と当山の石畳 付近の(有用微生物利用によ る)浄化対策。 ・流域住民(特に汚染源に なっている地域)への意識啓 蒙と協力願い。	¥300,000 (¥220,000)
	5 トラフ	『浦添のまちづくり関し、提 案を目的とした「まちづく り」の開催。』 ・ワークショップによる課題 の抽出 提案。・作品の展示や	¥250,000



6 オオゴマダラを楽しむ会

浦添大公園、他同意・許可の得られる場所。

『オオゴマダラを増やす活動。』
飼育し易い蝶や他の昆虫の増殖にも目を向ける。
・市内の森・草原・水域に関心を持ち、子供達と共に自然を楽しみ、将来の自然のあり方を学ぶ。

¥280,000

(¥220,000)

7 伊祖自治会

パイプライン通り(県道)

『パイプライン通り(伊祖自治会地区)の除草活動。』
・自治会内を通る県道の除草活動。

¥110,780

(¥0)

8 宮城自治会

宮城2-28,1-35
(部落内有地)

『自治会内の歴史・文化を次世代に繋げる為、点在する地域資源を生かしたまちづくりを考える。』
・地域 住民が造り上げた小広場に地域のゆかりの場マップを設置したい。
・地域の聖地の一つのテラゴマを、周辺の緑化等を中心とした整備をしたい。

¥300,000

(¥0)

9 沢岬自治会

沢岬301-6(部落有地)

『昔松が多くあった地域の部落有地に松を中心とした緑化。』
・渡り鳥が止まり木としていた1本松(ティーチマーチュー)を中心とした緑化整備。

¥500,000

(¥0)



10 西原子ども会 + あるふぁ

『みんなで遊び場をつくろう!』
・これまでの子供達との活動を通して出てきた「みんなの遊び場」づくりの実践。
・ワークショップの開催など子供や地域の人達と一緒に考え、取組、楽しみながら手づ

¥900,000

字西原地内（部落有地）

くりの遊び場をつくっていき
たい。

(¥330,000)

11 茶山自治会

茶山団地内市道

『団地中通りのグリーンベル
ト作戦』
・団地中通りの整備計画
(案)を自治会員による手作
りの作成活動。

¥300,000

(¥0)



12 浦城自治会

道路残地（市有地）

『道路残地の緑化活動』
・街路整備の後の、残地を地
域住民の手で緑化を中心とし
た整備をしたい。

¥350,000

(¥230,000)



は助成団体

ますづくりプラン賞
トップへ

第2回 『浦添市ますづくりプラン賞』

[へもどる](#)

表彰授与式

平成11年10月9日(土)に市役所9階の講堂で『浦添市まちづくりプラン賞』の第一回公開審査会が行われ、そこでの審査結果に基づき平成11年11月2日表彰授与・助成金交付式が行われました。ここではその模様と受賞団体の応募活動・計画(案)の内容を紹介します。

『表彰授与式・助成金交付式』



平成11年11月2日(火)市長応接室で、公開審査を経て選ばれた5グループに対する表彰式と助成金の交付式がありました。助成金の交付を受けた浦城自治会員からは、「緑化活動を行うのに予算的にきびしい中、プラン賞のことを知り、みんなで話し合い応募しました。選ばれて、大変うれしいです。」と語っていました。表彰式で池田委員長は「応募(案)は甲乙つけがたいものばかり

りでした。選ばれたグループは、活動状況を、是非、市民に見せて欲しい。」と話しました。宮城市長は「計画の実現が市民主体のまちづくりの一步を踏み出すことになり、とても有意義なことです。頑張ってください。」と受賞者を激励しました。

助成団体の 紹介

「オオゴマダラを楽しむ会」

親富祖 善繁 助成額 22万円



[活動状況へ](#)

浦添大公園や許可を得られる場所でオオゴマダラを増やす活動です。オオゴマダラは日本最大（体長平均約16cm）の蝶といわれています。この他にも、飼育しやすい蝶や昆虫の増殖にも取り組みます。

市内の森や、草原、水辺に関心を持ち、子どもたちと一緒に自然を楽しみ、将来の自然のあり方を考えることが目的です。

具体的には、いろいろな団体に呼びかけて、オオゴマダラの食草「ホーライカガミ」の苗を栽培し増殖します。豊かな緑の中を蝶などが優雅に飛んでいる、そんな自然に恵まれた浦添を目指します。

「牧港川をきれいにする市民の会」

岡 美治 助成額 22万円

牧港川の浄化運動。牧港川は水質汚染が激しく、悪臭もそうとう強いです。昔は川に入って魚取りや、虫などを探したり、川は子どもたちにとって絶好の遊び場でした。

現在、浦添市にそんな川はありません。浦添の子どもたちのためにも、また、市民の安らぎと憩いの場として牧港川を美しい、きれいな川として甦らせようと思います。

その方法として有用微生物を利用して上流から浄化をはかり、流域住民にも牧港川をきれいにするこゝへ協力を呼びかけます。



[活動状況へ](#)

「西原子ども会+あるふぁ」

仲程 啓子 助成額 33万円



[活動状況へ](#)

みんなで、手づくりの遊び場をつくろうというのが目的です。

これまでの子ども会活動で、「にしはら再発見ワークショップ」の集落探検行事などを通して、集落内に意外と遊び場が無いことに気づきました。

これから新しく遊び場をつくることはとても大変なことなので、現在休遊化している字有地の広場をみんなで安心して遊べる場所にしていこうという内容です。

子どもたちだけでなく、お父さんもお母さんも、おじいちゃんもおばあちゃんもみんなが憩える広場を作ります。

「浦城自治会」

玉城 英子 助成額 23万円

浦城自治会地区は都市化が進み、コンクリートジャングル化しつつあります。自然との関わりが薄れ、地域の景観も寂しい雰囲気となっています。しかし、自治会員には花に興味をもっている人が多く、花づくり活動を展開しようということになりました。

自治会内には自由に使える字有地などがいないため、調査の結果、自治会内にある道路残地（市有地）の有効利用を考えました。そこに花や緑を植え、街のなかのガーデニングを行います。



[活動状況へ](#)

「トラフ」

具志 裕 助成額 15万円



トラフは建築家のグループです。浦添市は公園整備や道路整備が進み、街の活性化がはかられています。事業主体である市の計画に市民の声が反映されれば、浦添のまちづくりは尚一層活気づくのではないのでしょうか。

それを結びつける方法として、まちづくりフェスタの開催を計画します。展示会やフリーディスカッションを通し、まちづくりへの関心が深まり、市民・行政が一体となったまちづくり体制が生まれることを目指します。



[活動状況へ](#)

まちづくりプラン常
トッパへ

第2回 『浦添市まちづくりプラン常』

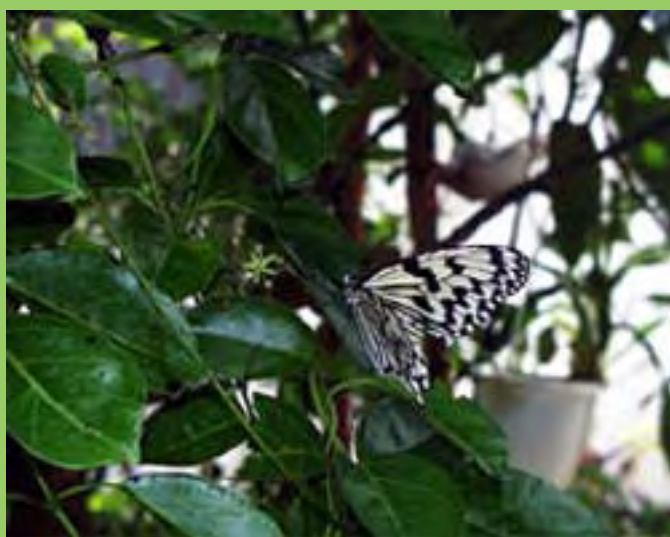
[へもどる](#)

助成団体の 活動状況

「オオゴマダラを楽しむ会」

親富祖 善繁 助成額 22万円

応募時の活動計画



浦添大公園や許可を得られる場所でオオゴマダラを増やす活動です。オオゴマダラは日本最大（体長平均約16cm）の蝶といわれています。この他にも、飼育しやすい蝶や昆虫の増殖にも取り組みます。

市内の森や、草原、水辺に関心を持ち、子どもたちと一緒に自然を楽しみ、将来の自然のあり方を考えることが目的です。

具体的には、いろいろな団体に呼びかけて、オオゴマダラの食草「ホーライカガミ」の苗を栽培し増殖します。豊かな緑の中を蝶などが優雅に飛んでいる、そんな自然に恵まれた浦添を目指します。

活動の様子

下記写真をクリックするとアルバム形式で活動の様子がご覧頂けます



[苗や肥料などを用意しました](#)
(74k)



[オオゴマダラの幼虫・さなぎ](#)
(34k)

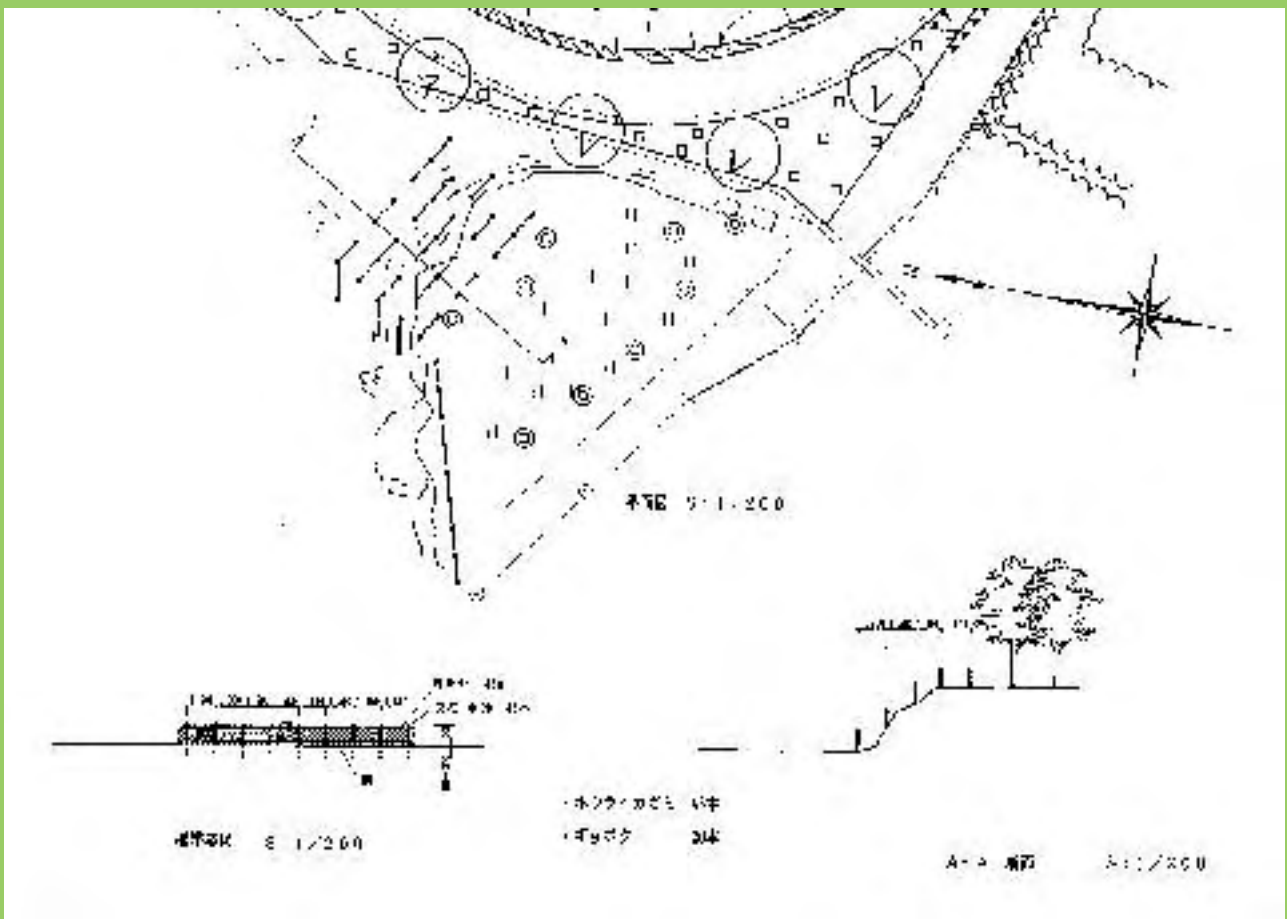


[浦添市運動公園内でも活動することになりました。](#)
(45k)

植栽活動を行っている、沖縄県営浦添大公園です。



浦添市運動公園内でも活動することになりました



浦添市運動公園での計画図です。少々見にくいですが雰囲気はわかって頂けるでしょうか？

オオゴマダラを楽しむ会 ・ [牧港川をきれいにする市民の会](#)

[西原子供会+あるふぁ](#) 。 [浦城自治会](#) ・ [トラフ](#)

ますづくりプラン賞
トッパへ

第2回 『浦添市ますづくりプラン賞』

[へもどる](#)

「オオゴマダラを楽しむ会」

苗木や肥料などを用意しました



ホウライカガミの苗です。



苗がそだちました。(H12.6)。



これもホウライカガミです。



肥料やプランターも必要です。



もどる



『オオゴマダラを楽しむ会』

オオゴマダラの幼虫、さなぎ



オオゴマダラの幼虫です。



さなぎの抜け殻です。

もどる

「オオゴマダラを楽しむ会」

浦添市運動公園内でも活動することになりました。蝶の園をつくろう。



どのように食草（ホウライカガミ）を植えようか思案中です。



こちら辺でよろしいでしょうか？

もどる

助成団体の 活動状況

「牧港川をきれいにする市民の会」

岡 美治 助成額 22万円

応募時の活動計画



牧港川の浄化運動。牧港川は水質汚染が激しく、悪臭もさうとう強いです。昔は川に入って魚取りや、虫などを探したり、川は子どもたちにとって絶好の遊び場でした。

現在、浦添市にそんな川はありません。浦添の子どもたちのためにも、また、市民の安らぎと憩いの場として牧港川を美しい、きれいな川として甦らせようと思います。

その方法として有用微生物を利用して上流から浄化をはかり、流域住民にも牧港川をきれいにするこゝへ協力を呼びかけます。

活動の様子

下記写真をクリックするとアルバム形式で活動の様子がご覧頂けます



[牧港川\(90k\)](#)



[浄化装置の取付け\(85k\)](#)



浄化装置の設置状況(90k)



設置後メダカや系ミミズが
集まる(30k)



少し見えにくいですが、牧港川の概略と水質の問題点を記入しています。
今回の、活動の中心はこの川の2カ所（1カ所は浦添大公園内の干支橋のたもと、
2カ所目は上流側の下水道のボックス付近）で、有用微生物と米のとぎ汁を河床に
沈めた木炭による浄化活動です。

設置期間は、平成12年4月15日～6月24日の間でした。

[オオゴマダラを楽しむ会](#) ・ [牧港川をきれいにする市民の会](#)

[西原子供会+あるふぁ](#) 。 [浦城自治会](#) ・ [トラフ](#)

まちづくりプラン賞
トップへ

「牧港川をきれいに する市民の会」

牧港川



石鹼の泡が多く見えます



ここでも、石鹼の泡が見えます。



3面張りの上流川です。



今日は泡は少ないようです。



水質の検査もしました。



水質検査です。

もどる



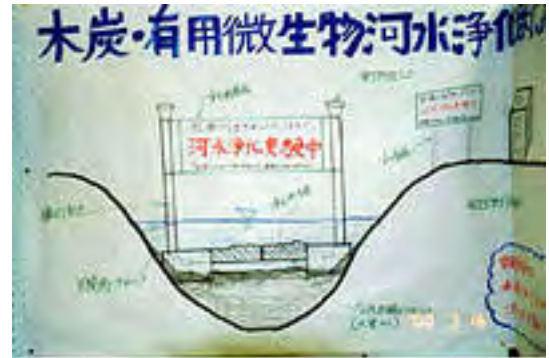
浦添大公園内の干支橋での取り付け。

「牧港川をきれいに する市民の会」

木炭・有用微生物による河川浄化装置の
取り付けです。
(平成12年4月)



右側のタンクに微生物が入っています。



概略図です。



上流側の取り付け、塩ビの管に木炭を詰めて
いる様子です。



さていよいよ設置。

もどる



赤い網の中に木炭が入っています。

×

助成団体の 活動状況

「西原子ども会+あるふあ」

仲程 啓子 助成額 33万円



応募時の活動計画

みんなで、手づくりの遊び場をつくろうというのが目的です。

これまでの子ども会活動で、「にしはら再発見ワークショップ」の集落探検行事などを通して、集落内に意外と遊び場が無いことに気づきました。

これから新しく遊び場をつくることはとても大変なことなので、現在休遊化している字有地の広場をみんなで安心して遊べる場所にしていこうという内容です。

子どもたちだけでなく、お父さんもお母さんも、おじいちゃんもおばあちゃんもみんなが憩える広場を作ります。

活動の様子

下記写真をクリックするとアルバム形式で活動の様子がご覧頂けます



[アガリモー（広場）を知ろう。\(97k\)](#)



[話し合い1\(35k\)](#)



[焼き芋パーティー\(170k\)](#)



[話し合い2\(36k\)](#)



[タイルづくり（1回目）\(70k\)](#)



[入り口改修\(196k\)](#)

[オオゴマダラを楽しむ会](#) ・ [牧港川をきれいにする市民の会](#)

[西原子供会+あるふぁ](#) 。 [浦城自治会](#) ・ [トラフ](#)

まちづくりプラン賞
トップへ

第2回 『浦添市まちづくりプラン賞』

[へもどる](#)

「西原子ども会+あるふあ」

アガリモー（広場）を知ろう。



アガリモーの入り口です。



前の道路から見たところです。



隣のアパートから見ました。



キースタッフでアガリモーの調査。
（平成11年12月）



アガリモーの現況図です。



大きなヤシもある。



少し水がたまりやすいゾ。



入り口をどうしようか？

もどる

「西原子ども会+あるふぁ」

話し合い
平成11年12月～12年2月



何から始めようか？現地調査を基に考えました。



みんなが参加して、みんなで考えよう。



広場で焼き芋パーティーをしよう。

もどる

「西原子ども会+あるふぁ」

焼き芋パーティー
平成12年2月27日（日）晴れ
場所：アガリモー



はじめに、みんなでアガリモーについて話し合いました。



元気がいいね。



みんながつくった地図もあるよ。



入りきれないくらいいっぱい集まりました。



いよいよ、焼き芋パーティーです。



ここでも、キースタッフから話しがありました。



穴を掘ってさあ焼き芋だ。



お父さんが一番張り切っていました。
火も使ったよ。



ウスを使って大豆から豆腐も作りました。



温かい、ユシドウフができたよ。



やきいも焼けた。



温かいユシドウフです



やっぱり焼き芋はおいしいな。



みんな並んで、おいしいね。

もどる

「西原子ども会+あるふあ」

話し合い2
平成12年4月～6月
入り口の改修について



はじめに入り口から手を付けましょう。



子供達の思い出にもなるし賛成。



タイルを焼いて、はめ込んではどうでしょうか？

もどる

「西原子ども会+あるふあ」

タイルづくり（1回目）
平成12年6月21日（水）
19：00～20：30



たくさんの友達が集まりました。



会場は熱気ムンムンです。



今日は、粘土を型取り、好きな絵や文字を書きました。



粘土を延ばす機械です。



お母さんと一緒に頑張る。

もどる



えいさく先生の後ろ姿です。

「西原子ども会+あるふあ」

入り口改修
平成12年7月22日（日）～
7月23日（日）
場所：アガリモー



改修前の入り口です。



タイル張りの前日に子ども会の役員で前準備をしました。



石敢當をたてました。



お父さん達が一番張り切っていました。



アガリモーの碑も建てました。



まず、入り口の土間コンクリート打ちで



土間コンクリートが乾く前にタイルを張り込みます。

す。



みんなが作ったタイルを張り込みます。



絵も描いたよ！！



お母さん達が作ってきたおにぎりはおいしいな！



皆並んで楽しいな。



こんなにいっぱい参加したよ！



整備後です。



皆が埋めたタイルです。



貝殻にも見えますね。

もどる

助成団体の 活動状況

「浦城自治会」

玉城 英子 助成額 23万円

浦城自治会地区は都市化が進み、コンクリートジャングル化しつつあります。自然との関わりが薄れ、地域の景観も寂しい雰囲気となっています。しかし、自治会員には花に興味をもっている人が多く、花づくり活動を展開しようということになりました。

自治会内には自由に使える字有地などがいないため、調査の結果、自治会内にある道路残地（市有地）の有効利用を考えました。そこに花や緑を植え、街のなかのガーデニングを行います。

イメージ図



活動の様子

下記写真をクリックするとアルバム形式で活動の様子がご覧頂けます



[活動前の道路残地の状況です。\(32k\)](#)



[水道を取り付けました。\(42k\)](#)



[「肥料入れ」と「一回目の植栽活動」\(42k\)](#)



[「二回目の植栽活動」\(83k\)](#)

[オオゴマダラを楽しむ会](#) ・ [牧港川をきれいにする市民の会](#)
[西原子供会+あるふぁ](#) 。 [浦城自治会](#) ・ [トラフ](#)

ますづくりプラン賞
トッパへ

第2回 『浦添市ますづくりプラン賞』

[へもどる](#)

活動前の道路残地の状況です。



雑草がいっぱい茂っています。



雑草が草花に変わるといいね。



急カーブで人も車窮屈でした。

もどる

水道を取り付けました。今度のまちづくりプラン賞の助成金の最大の使い道は水道の取り付けです。



見えにくいですが、写真奥に水道の蛇口があります。



この道は牧港小学校の児童生徒の通学路です。



雑草を取り赤土を入れ、カーブを緩やかにしました。

もどる

「肥料入れ」と「一回目の植栽活動」



これから、堅くなった土地を耕し、肥料を混ぜます。



肥料です。



部分的にランタナ等を植えました。

もどる

「二回目の植栽活動」



モクビャッコウ、レンギョウ、ムラサキオ
オツユクサ等婦人会、老人会を中心に活動
しました。



植栽活動中です。



植栽活動中です。



皆さんどうも、ご苦労さんです。

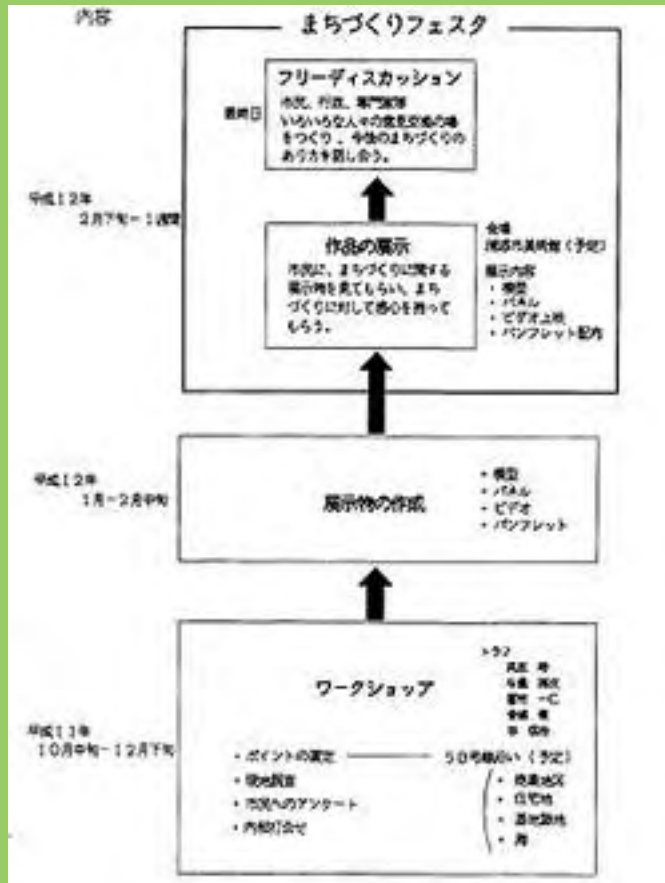


植栽活動後の道路残地です。

助成団体の 活動状況

「トラフ」

具志 裕 助成額 15万円



応募時の活動計画

トラフは建築家のグループです。浦添市は公園整備や道路整備が進み、街の活性化がはかられています。事業主体である市の計画に市民の声が反映されれば、浦添のまちづくりは尚一層活気づくのではないのでしょうか。

それを結びつける方法として、まちづくりフェスタの開催を計画します。展示会やフリーディスカッションを通し、まちづくりへの関心が深まり、市民・行政が一体となったまちづくり体制が生まれることを目指します。



まちづくりフェスタのフロー

活動の様子

下記写真をクリックするとアルバム形式で活動の様子がご覧頂けます



[打ち合わせ・作業状況\(52k\)](#)



[フォーラム・展示会風景
\(140k\)](#)



打ち合わせは、深夜まで続きました。

「トラフ」

打ち合わせ



テーマはどうするんだ???



展示会に向けて、作業開始です。

「トラフ」

作業状況

もどる



今夜は徹夜だ。

フォーラム / 展示会風景
場所：浦添市役所 1F 展示ホール
H12.3.14-3.24



会場入り口です。



会場の全景です。



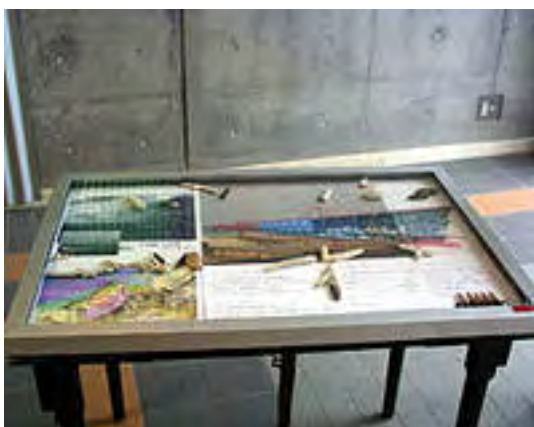
テーマは「ECO - EGO」です。



街は無数の細胞からできている、細胞核を大切に。



色々な提案がありました。



市街地と海を結ぶ巨大な橋を架けよう。



生活幹線道路に対する提案です。



橋は動くのだ。



通りに賑わいを、バザール空間に。



河井敏明氏（京都在住 建築家）による講演です。



皆さん熱心に聞き入っています。



スライドも在りました。



いよいよパネディスカッションです。



テーマが「環境」なので、幅広い議論がありました。



時々笑いも、ありましたよ。

もどる